



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 葛山 稔

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日

未定

TEL 03-3201-1541

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,132	8.9	△1,044	—	△1,053	—	△872	—
25年3月期第1四半期	3,796	△59.8	△313	—	△328	—	△324	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △1,078百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.01	—
25年3月期第1四半期	△1.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,771	6,390	64.3	23.91
25年3月期	9,144	7,819	85.3	26.92

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,925百万円 25年3月期 7,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,600	33.4	1,100	33.0	1,100	29.3	700	219.6	2.42
通期	24,600	25.8	1,200	△20.1	1,100	△25.9	660	173.9	2.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	289,747,982 株	25年3月期	289,747,982 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	89,193 株	25年3月期	88,508 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	289,658,933 株	25年3月期1Q	289,659,824 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後、金融政策や経済政策を背景に円安傾向が続いている影響により景気に持ち直しの動きが見られるものの、原材料価格の高騰、欧州債務危機や中国、新興国の経済鈍化等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、米国の経済指標の悪化や、中国経済の成長鈍化等が重なり、世界経済への不安が高まったことで大幅に下落いたしました。宝飾市況においては、国内の個人消費の本格的な回復が見込めず、厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や税制等の政策支援により、住宅購入環境に改善の兆しがみられるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械市況においては、北米市場は堅調に推移したものの、中国及びアジアをはじめとする新興国の需要減が影響し厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資市況においては、米国の量的緩和縮小観測の高まりにより、金価格を支えてきた金融環境が大きく変化いたしました。これにより金先物価格が一時的に下落したことが影響し評価損を計上することとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,132,047千円（前年同期3,796,007千円）、営業損益は1,044,153千円の損失（前年同期313,316千円の損失）、経常損益は1,053,251千円の損失（前年同期328,544千円の損失）、四半期純損益は872,503千円の損失（前年同期324,023千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

貴金属事業におきましては、生産能力に見合った原料集荷量が当初想定を下回り、売上高は3,292,288千円（前年同期3,104,765千円）、営業損益は61,475千円の損失（前年同期87,965千円の損失）となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は330,052千円（前年同期245,540千円）、営業損益は29,014千円の損失（前年同期7,904千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は24,030千円（前年同期82,743千円）、営業損益は123,161千円の損失（前年同期3,906千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は485,122千円（前年同期362,957千円）、営業損益は20,966千円の損失（前年同期7,617千円の損失）となりました。

投資事業におきましては、東京商品取引所東京金先物に投資を行っており、営業損益は693,885千円の損失（前年同期100,344千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,626,650千円増加し、当第1四半期末は、10,771,373千円となりました。

増加の主なものは、預け金の増加（200,300千円から5,324,081千円へ5,123,781千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（3,456,377千円から620,203千円へ2,836,174千円の減少）であります。

当第1四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より3,055,392千円増加し、当第1四半期末は、4,381,044千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加（900,000千円の増加）、デリバティブ債務の増加（6,927千円から1,837,489千円へ1,830,562千円の増加）であります。

当第1四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より1,428,742千円減少し、当第1四半期末は、6,390,329千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（△4,953,428千円から△5,825,932千円へ872,505千円の減少）、少数株主持分の減少（21,376千円から△534,834千円へ△556,211千円の減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

貴金属事業において、貴金属価格、金地金原料集荷量ともに当初想定を下回ったことによる金地金販売量の減少が影響し業績は低迷いたしました。平成26年3月期の連結業績予想（第2四半期連結累計期間及び通期）につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、平成25年5月10日公表の数値から変更はありません。確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,377	620,203
売掛金	16,072	29,093
商品及び製品	571,112	662,250
仕掛品	141,608	44,571
原材料及び貯蔵品	38,915	14,354
販売用不動産	297,611	208,711
仕掛不動産	369,285	461,499
貸付商品	679,348	—
預け金	200,300	5,324,081
デリバティブ債権	30,552	34,706
その他	110,719	55,278
流動資産合計	5,911,903	7,454,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,143,637	1,145,572
減価償却累計額	△345,301	△363,704
建物及び構築物（純額）	798,336	781,868
機械装置及び運搬具	570,066	630,232
減価償却累計額	△375,180	△386,625
機械装置及び運搬具（純額）	194,886	243,607
土地	1,550,882	1,550,882
建設仮勘定	19,352	72,500
その他	121,781	121,781
減価償却累計額	△91,541	△93,945
その他（純額）	30,239	27,835
有形固定資産合計	2,593,697	2,676,693
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	1,865	4,033
無形固定資産合計	366,865	369,033
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	149,582	148,062
その他	11,523	11,683
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	272,257	270,897
固定資産合計	3,232,819	3,316,624
資産合計	9,144,723	10,771,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,228	23,277
短期借入金	—	900,000
1年内返済予定の長期借入金	148,255	151,895
未払金	46,401	379,352
未払法人税等	50,070	12,709
デリバティブ債務	6,927	1,837,489
その他	26,883	47,203
流動負債合計	281,766	3,351,927
固定負債		
長期借入金	808,020	773,100
長期未払金	9,000	7,200
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	23,291	23,093
繰延税金負債	19,200	40,346
資産除去債務	177,339	178,343
固定負債合計	1,043,885	1,029,117
負債合計	1,325,651	4,381,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△4,953,428	△5,825,932
自己株式	△30,941	△30,968
株主資本合計	7,797,695	6,925,164
少数株主持分	21,376	△534,834
純資産合計	7,819,071	6,390,329
負債純資産合計	9,144,723	10,771,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,796,007	4,132,047
売上原価	3,752,026	4,803,270
売上総利益又は売上総損失 (△)	43,980	△671,222
販売費及び一般管理費	357,296	372,931
営業損失 (△)	△313,316	△1,044,153
営業外収益		
受取利息	17	17
国庫補助金収入	10,066	10,286
為替差益	—	5,856
その他	1,000	4,127
営業外収益合計	11,083	20,287
営業外費用		
支払利息	2,729	5,440
休山管理費	23,567	23,926
その他	15	18
営業外費用合計	26,312	29,385
経常損失 (△)	△328,544	△1,053,251
特別利益		
負ののれん発生益	—	4,488
特別利益合計	—	4,488
税金等調整前四半期純損失 (△)	△328,544	△1,048,763
法人税、住民税及び事業税	5,278	8,801
法人税等調整額	—	21,145
法人税等合計	5,278	29,947
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△333,823	△1,078,710
少数株主損失 (△)	△9,800	△206,206
四半期純損失 (△)	△324,023	△872,503

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△333,823	△1,078,710
四半期包括利益	△333,823	△1,078,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△324,023	△872,503
少数株主に係る四半期包括利益	△9,800	△206,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,104,765	245,540	82,743	362,957	—	3,796,007	—	3,796,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,016	—	—	4,016	△4,016	—
計	3,104,765	245,540	86,760	362,957	—	3,800,023	△4,016	3,796,007
セグメント損失(△)	△87,965	△7,904	△3,906	△7,617	△100,344	△207,738	△105,577	△313,316

(注) 1. セグメント損失の調整額△105,577千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△105,577千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる第1四半期連結累計期間のセグメント損失に与える影響は軽微であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,292,288	330,052	24,030	485,122	—	4,131,494	553	4,132,047
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,016	—	—	4,016	△4,016	—
計	3,292,288	330,052	28,047	485,122	—	4,135,511	△3,463	4,132,047
セグメント損失 (△)	△61,475	△29,014	△123,161	△20,966	△693,885	△928,503	△115,650	△1,044,153

- (注) 1. セグメント損失の調整額△115,650千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,203千円及び主に報告セグメントに帰属しない研究開発関連の収益553千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更等）

前第3四半期連結会計期間から、「貴金属事業」に含まれていた「宝飾事業」について質的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。